

桂川・嵐山地区のより良い河川整備に向け、地元主体で幅広い議論を行う場として「桂川嵐山地区河川整備地元連絡・検討会」(以下、連絡・検討会)を開催しています。

今回の連絡・検討会では、平成30年3月に開催した第7回桂川嵐山地区河川整備検討委員会の結果報告と、出水期が近づいていることをふまえ、京都市避難勧告等の判断・伝達マニュアル(京都市が説明)、ソフト対策の検討状況について説明を行い、議論頂きました。

## 概要

日時：平成30年5月28日(月)

午後14時～16時

場所：ホテルビナリオ嵯峨嵐山

地下会議室

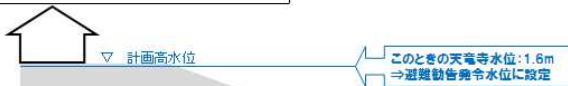
出席者：地元住民17名

淀川河川事務所、京都府、京都市



## 6号井堰撤去後の天竜寺水位の変化(避難勧告発令水位の見直し)

現行(6号井堰撤去前)：天竜寺水位1.6m



○設定の考え方(他の地区も同様の方法で設定)  
左岸18.2k(嵐山いこい前)の水位が計画高水位に達したときの天竜寺水位

○課題  
左岸道路高が計画高水位と概ね同程度であるため、避難勧告が発令されても道路冠水によって避難できない可能性(天竜寺水位1.7mで浸水発生)

見直し案(6号井堰撤去後)：天竜寺水位0.5m



○設定の考え方  
・6号井堰撤去に伴う天竜寺水位の変化を考慮。  
・避難時間を1.5時間程度考慮し、左岸道路高に河川水位が達する1.5時間前の天竜寺水位を5避難勧告発令水位に設定。

## ①水位や雨量等の情報集約についての対応

複数機関が一般に公表している水位、雨量、ダム放流量等の情報を集約。(リンク集のようなイメージ)

トップ画面

- 日宮ダム流入量・放流量・貯留量データ  
ダムに流れ込む水の量、ダムから放流される水の量、ダムにどれだけの水が貯まっているかなどを確認  
H25年台風18号では、日宮ダムから放流された水が天竜寺に到達するまで3時間程度かかった
- 各地点水位データ  
天竜寺水位の手前のために上流観測所の水位データを確認  
H25年台風18号では、新町地点の洪水が天竜寺に洪水するまで2時間程度かかった
- 各地点雨量データ  
日宮ダムより下流での降雨は、河川水位の上昇に繋がらため、雨量データを確認
- 渡月橋ライブカメラ  
河川に近づかず河川水位や渡月橋の通行規制の状況等を確認
- 天竜寺地点の水位データ  
水防活動や避難行動等の目安となる水位をリアルタイムで確認

## 地元から頂いた意見

- ・海外の観光客への対応、特に緊急時の対応について検討が必要。
- ・過去にどんな洪水があったか忘れないような工夫を考えてほしい。
- ・水位・雨量情報を集約したサイトはありがたい。いかに多くの人に伝えるかの工夫が大切。
- ・亀岡ではダム放流時にサイレンが鳴る。嵐山でも同様の仕組みを作ることができないか。
- ・行政から避難の連絡をもらっても、その時の水位がまだ低ければ現実感がなく危機感を感じない。今置かれている状況を正確に把握し、周囲に伝達できるような情報提供や仕組み作りが必要。

昨年実施した6号井堰撤去後の水位低下をふまえた避難勧告判断水位見直しや、水文情報を集約したウェブサイトの内容、情報提供のありかたについて、多くのご意見を頂きました。嵐山地区自主防災の質の向上のため、地元の皆様と議論しながら引き続き検討・支援を行います。

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 調査課  
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL : 072-843-2861

